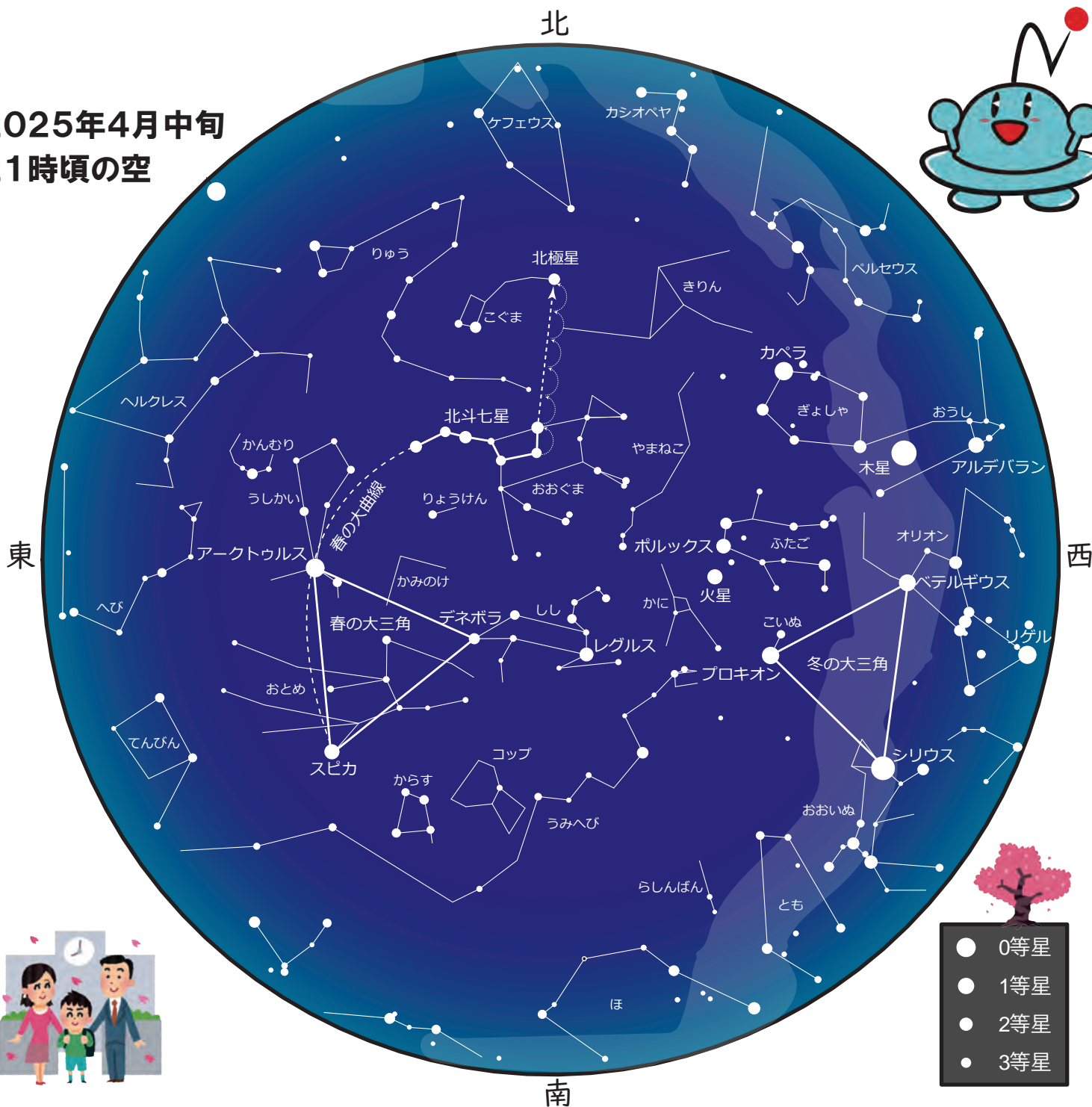


阿南市科学センター

4月の星空案内

2025年4月中旬
21時頃の空



桜が咲き誇り、新生活や新学期が始まる4月、夜空を見上げてみると、春の星座たちがぞろぞろと昇ってきています。北の空高い位置にはひしゃくの形をした**北斗七星**を見つけることができます。北斗七星を使うとたくさんの星を見つける事ができるので順番に探していきましょう。まずはひしゃくの水を汲む位置にある二つの星の間の距離をはかって5倍さらに北の空にのばしてみると**北極星**（約 2.0 等）を見つけることができます。今度はひしゃくの取っ手の部分に注目してみましょう。先の星から南東の方角へのばしてみるとオレンジっぽく輝く**うしかい座**の一等星**アークトゥルス**（約 -0.1 等）を見つけることができます。ここからさらに南へのばすと青白い**おとめ座**の一等星**スピカ**（約 1.0 等）を見つけられます。

天体観望会のご予約はネットかお電話にて【毎週土曜日開催】

阿南市科学センター

電話 0884-42-1600

<https://www.ananscience.jp/science/>

4月の月の満ち欠けと惑星について



上弦
5日



満月
13日




下弦
21日



新月
28日

4月の天体観望会で月が見える日時は？

 4/5(土)・・・20時、21時の回で観察可

 4/12(土)・・・20時、21時の回で観察可

水星：22日に西方最大離角をむかえ、明け方東のごく低空で見える。【約0.4等】

金星：夜明け前、東の低空で観察できる（明けの明星）。【-4.5等】

火星：日没後、西の空で見えはじめ、後半夜に沈む。【約0.7等】

木星：日没後、南西の空で見えるが、前半夜のうちに沈んでしまう。【約-2.0等】

土星：観測は難しい。

※各惑星の等級は中旬頃の明るさ（水星は22日の明るさ）。

そろそろお目覚め？
約80年ぶりの新星爆発を見逃すな！



詳しくは日本変光星研究会のWebページをチェック！

新星の想像図

かんむり座T星

爆発すると約2等星になるぞ！

今月の天文現象

【22日 こと座流星群が極大】

22日の23時頃にこと座流星群が極大をむかえます。日本では少し高度が低いものの、夜遅くて月明かりも少ないため、観測はとてもしやすくなっています。しかし、3大流星群のようにたくさんの流れ星が見れるものではなく、明かりの少ない暗い場所で1時間に数個見られると良い流星群です。放射点は図1のようになります。

流星群はいつどこで出現するか誰にもわかりません。そのため観測をする際は周りを見渡せるような開けた暗い場所で観測をしましょう。放射点だけにとらわれず、広い視野で流れ星が現れるのを気長に待ちましょう。また、長いあいだ空を見続ける必要がありますので、レジャーシート等を敷いて寝っ転がるとたいへんラクに観察ができます。

もし流れ星を見つけれたらお願い事をしてみてはいかがでしょうか。

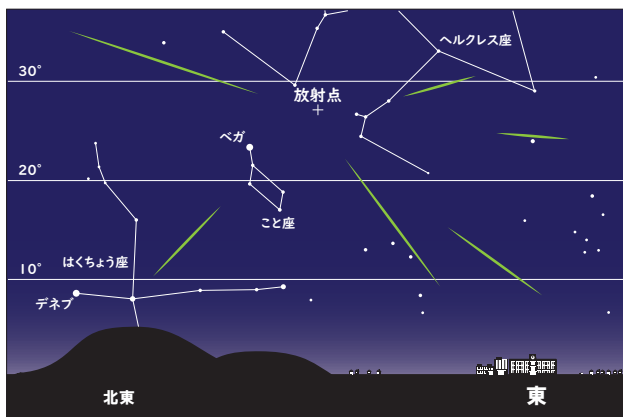


図1： 2025年4月22日23時頃の阿南市の空図はステラナビゲータをもとに作成

イチ押し天体写真

【しし座の銀河 M66】



図2： 阿南市内で撮影したM66。

μ -210 + ASI294MC-pro + CBP filter, 180s x 65, Bin x2, Gain 120.

M66は春の星座しし座に位置する銀河です。銀河とは大量の星、ガス、塵などの集合体を指し、宇宙には数千億個以上存在すると考えられています。M66は18世紀にフランスの天文学者シャルル・メシエによって発見されました。“M”という頭文字はメシエが作成した天体カタログ（メシエ・カタログ）のことを意味し、星雲・星団・銀河など1～110番までの天体が載っています。

M66は渦巻構造を持つ銀河で、HII領域と呼ばれる新しい星の形成が活発に行われる場所が数多く確認されています。また、渦巻構造が非対称になっていることが知られています。これは、近くにあるM65やNGC3628という他の銀河の重力の影響を受けて、ひずみが生じたと考えられています。